

# いちご栽培管理 (R2.9.)

(有) 丸 富

8月は晴天が長引き、全国各地で猛暑になり、病害虫で甚大な被害が発生した。苗は急激な環境変化と酷暑の影響で生育不良に。盆頃から近年では珍しいくらい、斑点や萎れなど病害が発生した。

## 芽なし対策

品種によって差があるが、育苗期後半～定植前に樹勢低下(窒素切れ)すると、芽なし株になりやすい。芽なし対策は最終追肥が切れる前から定植までを樹勢維持する。

芽なし対策に**天地の恵み 500倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を定植前まで5日ごとに灌注、又は散水する。

## 病害対策

窒素過多や樹勢低下による病害発生、手入れ(葉かき)による傷口からの侵入など、病害の発生原因がある。窒素過多を改善し、健全な苗を育成することが、病害の軽減に繋がる。

健全な苗の育成に**酸カル(又は時を越えた贈り物)1,000倍**と**サンミネーラ 3,000倍**を散水(灌注)する。

防除時に**酸カル(又は時を越えた贈り物)1,000倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を混用する。

## 花芽分化対策

定植20日前から花芽分化を誘導するよう、遮光資材などを活用して、温度を下げる。

苗の充実促進に**時を越えた贈り物 500倍**と**サンミネーラ(又はシリアップ)5,000倍**を数回、葉面散布する。

## 活着促進

定植時に発根すると活着しやすくなるので、逆算して定植7～10日前に発根剤を灌注(散水)する。

活着促進に**GバランスDF 5,000倍**を定植7～10日前に、苗に灌注(散水)する。

定植後7日以内に**発根力(又は天地の恵み)1,000倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を数回、灌注(散水)する。

## 害虫対策

メンチュウや初ブラムシの発生が各地で多く確認されているので注意して観察する。また樹勢低下によるダニ、トリヒメコバエなど害虫の発生も多くなっている。周辺環境の変化にも注意する。

事前対策に**バイオアウトTS(又はストッパー-雅)50～100cc/10a**を3～5日毎に散水、又は散布する。

## 追肥(液肥)

少量多回数で灌水、散水する。施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥	500～1,000倍	} 5～7日毎に灌水する場合 ※状況に応じて加減する
時を越えた贈り物(又は天地の恵み)	1,000～2,000倍	
サンミネーラ	5,000～10,000倍	
バイオアウトTS	5,000～10,000倍	

※サンミネーラの代わりにシリアップ<sup>o</sup> 5,000～10,000倍、天然ミネラル 2,000倍、海藻のエキス 10,000倍でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)